

公益社団法人愛知県医師会 第19回(定例)理事会議事録

開催日時：平成26年9月25日(木) 午後2時30分～午後4時35分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／市川 朝 洋 吉田 貴 伊藤 健 一 城 義 政 加藤 雅 通

大輪 芳 裕 西山 朗 檉尾 富 二 樋口 俊 寛 伊藤 富 士 子

瀬瀬 雅 明 細川 秀 一 森 孝 生 城 卓 志 野田 正 治

監事／岩瀬 敬 紀 可世木 成 明 榊 原 一 基

代議員会議長／水野 和 夫

代議員会副議長／川上 雅 正 杉 田 洋 一

議事録作成者 横地 宏 和

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者25名(うち理事19名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①一般社団法人愛知県介護福祉士会(会長 岡田ヒロミ)主催の平成26年度「介護福祉士初任者研修」〔11/1(土)・2(日)・9日(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下のNo.1~4の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	10/22(水)	健康教育委員会(平成26年10月開催分開催日の変更)	804会議室	吉田理事 瀬瀬理事

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
2	11/ 4 (火)	GOOD LIFE PROJECT (在宅医療に関するプロジェクト)	5 階医師連盟会議室	野田理事 樋口理事
3	11/26 (水)	勤務医部会幹事会 (平成 26 年 11 月開催分開催日の変更)	801・2 会議室	伊藤 (健) 理事 伊藤 (富) 理事
4	* H27 1/22 (木)	小児救急に関する研修会	尾張一宮駅前ビル (i-ビル)	城 (義) 理事 細川理事

*は共催・協賛等

—協議事項—

3. 日本医師会第 25 回「指導医のための教育ワークショップ」〔H27. 2/7 (土)・8 (日)〕 について

(日本医師会主催：晴海グランドホテル)

伊藤 (健) 理事より、役員より標記ワークショップへの参加希望者がいれば優先的に推薦をすると発言された。

柵木会長より、例年新任の役員に参加を依頼しているの、森理事若しくは野田理事に参加するよう依頼された。

4. その他

・日医平成 26 年度第 2 回都道府県医師会長協議会の提出議題について

柵木会長より、11 月 18 日 (火) に開催される標記協議会への提出議題を役員へ依頼され、提出希望の議題があれば、10 月の本会理事会にて検討し、議題を提出するので、議題があれば提出するよう依頼された。

・会費未納会員の会員名簿への氏名等の掲載について

市川理事より、県医師会の会費を 2 年間未納 (前回の名簿作製以降未納) の会員については、会員名簿への掲載中止及び愛知医報等の配付物の送付停止を通知し、会費の納入がなければ今回の会員名簿より実施することについて説明され、協議の結果、該当者の所属医師会へ納入通知文書を送付し、それでも納入がない場合については、該当者は会員名簿に掲載せず、愛知医報等の配付物を送付せず、会員サービスを停止することが決定した。

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 平成 26 年度都道府県医師会救急災害医療担当理事連絡協議会〔9/18(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

城（義）理事より、高齢者の増加により、救急搬送件数も急増しており、災害発生時においても DMAT・JMAT が到着するまでは、地域の医師・医療従事者の活動が不可欠である。本年 8 月 1 日、日本医師会は災害対策基本法上の「指定公共機関」の指定を受け、中央防災会議のメンバーとなった。救急搬送は、50%が軽症者であり、大都市での照会回数の事案が多い。MC 体制強化には、専門医としての MC 医師の常勤が必要であると報告された。

【本会関係会議について】

2. 勤務医部会幹事会〔9/17(水)〕について

(801・802 会議室)

伊藤（健）理事より、勤務医協、ドクターバンクの事業報告を行った後、フリートークにて特定看護師及び女性医師の管理職登用について取り上げ、意見交換を行ったと報告された。

柵木会長より、特定看護師の特定行為について質問され、市川理事より、分野別に研修を受けると回答された。

3. 平成 26 年度第 3 回小児救急連携体制協議会〔9/12(金)〕について

(802 会議室)

城（義）理事より、11 月 8 日（土）に県医師会において、あいち小児の池山先生に「こどもの命を守るために 事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー」として心肺蘇生の実技講義の開催を承認。11 月 27 日（木）豊橋市にて、豊橋市民病院の小山先生の講演会の開催を承認。毎年実施している、小児時間外救急の実態調査、新たに重症小児患者の診療実態に関する調査について検討したと報告された。

4. 地域医療再生に関する多職種連携協議会〔9/22(月)〕について

(801 会議室)

樋口理事より、イエローカード・システムの普及に向け、愛知県歯科医師会主催で多職種連携協議会シンポジウムを開催することとなり、事例内容について検討した。また、イエローカード・システム詳細版の内容改訂について協議した。次回までに各団体から案を提出してもらい協議する予定であると報告された。

5. 愛知県広域予防接種事業運営委員会〔9/22(月)〕について

(5 階医師連盟会議室)

瀨瀨理事より、ワクチン調達を将来的に県全体で現物給付できるような仕組みを検討したい。留意事項は愛知医報を通じ周知する予定である。事故報告書の取扱

いは追加報告を依頼し再度協議したい。市町村独自の行政措置（任意予防接種）に対応可能な制度設計を検討すべく、各市町村の保険加入状況について調査する。B類予防接種は嘱託医師の医師会加入状況、入所者情報が確認できるような調査事項を検討することにしたと報告された。

柵木会長より、保険に関しては医賠責も含めてなのか質問され、瀬瀬理事より、後遺症に関して定期接種は保険があるが、任意接種はまばらであると回答された。柵木会長より、任意接種に関しては医賠責が適用されるのか質問され、細川理事より、有責と判断されれば適用されると発言された。

6. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記のNo. 1～5の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	9/9 (火)	平成 26 年度救急医療推進大会	122 名 (8 階) 88 名 (9 階)	城 (義) 理事 細川理事
2	9/17 (水)	平成 26 年度第 3 回母体保護法指定医師講習会 (母体保護法指定医師新規指導と同時開催)	5 名 (7 名)	伊藤 (富) 理事 西山理事
3	9/18 (木)	産業医研修会 (アサヒビール)	29 名	西山理事 市川理事
4	9/19 (金) 20 (土)	健康教育講座	124 名 103 名	吉田理事 瀬瀬理事
5	9/21 (日)	かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会 (ホテルトヨタキャッスル)	45 名	西山理事 市川理事

【行政、その他関係団体等会議について】

7. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔9/22 (月)〕について

(東海北陸厚生局主催：東海北陸厚生局)

柵木会長より、今回の会議で任期満了となり、後任は伊藤副会長が務める。会議では 16 機関の申請があり特に問題はなかったと報告され、また、取り消し案件の事例について説明をされ、処分の類型については、1 つではなく段階的にするべきであると発言された。

8. 愛知県医療審議会 5 事業等推進部会〔9/17 (水)〕について

(愛知県主催：愛知県議会議事堂 1 階 ラウンジ)

山本副会長より、部会長にご自身が選出され、地域医療支援病院の承認要件の見直しについて、地域医療支援病院の承認について協議され、地域医療支援病院に豊橋市民病院が新たに承認され、愛知県内の地域医療支援病院は 17 病院になった

と報告され、また、報告事項の「医師不足の影響に関する調査結果について」資料に基づき説明された。

柵木会長より、豊橋市民病院の地域医療支援病院運営協議会委員について、推薦依頼が来たら市川理事若しくは樋口理事が担当になるようにと発言された。

伊藤（健）理事より、医師不足の影響に関する調査結果については、診療制限の数だけでは公的と民間病院の比較は出来ないと発言された。

9. 愛知県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会〔9/17(水)〕について
(愛知県社会福祉審議会主催：愛知県三の丸庁舎)

伊藤副会長より、障害程度の認定について決める会議であり、認定級の不服等について協議されたと報告された。

10. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち 平成26年度 第5回運営委員会〔9/10(水)〕について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：

特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち事務所)

城（義）理事より、特定健診は、健保を含め年間 25 万件を処理しており、市町村国保は 22 か所である。更なる委託市町村の獲得を目指したい。なお NPO 会員は 2,931 名で県医師会 A 会員の 67% の入会率である。平成 26 年度のインフルエンザ予防接種補助事業を 8 月 21 日健保連と契約締結したと報告された。

11. 瀬戸地域産業保健センター第1回運営協議会〔9/19(金)〕について

(瀬戸地域産業保健センター主催：瀬戸旭医師会館)

西山理事より、報告事項では、平成 25 年度事業実施報告、本年度事業内容の説明、活動状況につき報告があり、協議事項では、平成 26 年度委託実施計画、今後の地域産業保健センター事業につき協議したと報告された。

12. 平成 26 年度県営名古屋空港消火救難総合訓練〔9/18(木)〕について

(愛知県主催：県営名古屋空港)

細川理事より、今回、初めての夜間訓練及び制限区域内への入場訓練が実施され、最後に、医療団体を代表して講評を行ったと報告された。

13. 第 5 回東海北陸在宅医療推進フォーラム〔9/23(火)〕について

(東海北陸在宅療養支援診療所連絡会／富山県訪問看護ステーション連絡会主催：富山県総合福祉会館サンシップとやま)

野田理事より、会に先立ち、東海北陸在宅療養支援診療所の総会があり、各県から担当者が出席した。来年は三重県で開催予定であり、記念講演では、富山大学の山城教授より講演があった。フォーラムでは、市民公開講座があり、続いてシンポジウムが行われた。シンポジウムの中の「THP」とは、「トータルヘルスプランナー」ということであり、ケアマネジャーと訪問看護の看護師との中間の役であるということであっ

たと報告された。

柵木会長より、この会と本会の関わりについて質問され、野田理事より、愛知県の在宅療養支援診療所連絡会の会長をご自身が務めていると回答された。

【病診連携・地域医療支援病院関係会議について】

14. 第23回(2014年度第2回)名古屋記念病院地域医療支援病院運営協議会〔9/19(金)〕について

(名古屋記念病院主催：名古屋記念病院)

大輪理事より、長谷川院長から、天白、緑、東郷、日進を名古屋記念病院の医療圏として考えたい旨発言があった他、今後、急性期病院を目指すこと、高齢者の時間外救急などは今後も対応していくこと、救急専門外来へ特化していくことなど方針が示され、紹介率/逆紹介率は74.5%/71.4%で新基準をクリアしていると報告された。

【その他事項について】

15. 「日本医師会最高優功賞」表彰者の決定について

市川理事より、学校保健及び母子保健の向上に貢献した功労者として、長嶋正實先生(西区)に決定したと報告された。

16. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年9月25日